



平成25年12月15日

「凡事徹底」 当たり前のことを当たり前でできる人に

木枯らしが吹く季節となりましたが、子どもたちは寒さに負けず、運動場や体育館で元気に体を動かしています。取り組み始めて3年目のBトレによって、持久力とともに、寒さや風邪に負けない体力がついていることが実感できます。これからの季節、雨や雪の天候が増えますが、縄跳びなどの室内トレーニングを継続し、体力の向上に努めます。

さて、凡事徹底とは、「当たり前のことを当たり前にする、できること」です。日常の学校生活の中で、あいさつ、掃除や物の後始末、給食の手洗い、歯磨き、廊下の右側歩行などの毎日行う活動。また、宿題、ノートの文字など普段の学習においても原点に立ち返って、一生懸命、ていねいに行おうという願いが込められた言葉です。この2学期間、この言葉を全校の合い言葉として、日々の取組を進めてきました。学級の目標として、取り組んでいる学級もあります。2学期末を迎え、今年度も少なくなりつつありますが、もう一度この言葉を思い返し、一日一日が充実できるよう教育活動を推進していきます。

豊かな心を育む取組～ キラリタイム



毎月1回、朝の時間に「キラリタイム」という集会活動を行っています。全校がキラリと光る活動を進め、Bトレを完走した人などのがんばりを紹介しています。ボランティア委員会は、「ベルマークを集めて今までポールや大縄をもらいました。」と、ベルマーク収集を呼びかけました。生活委員会は、プラカードを掲げて、廊下を走らないように呼びかけました。11月は、児童会本部委員が、12月10日の人権の日に先立つ1ヶ月を「長小人権強調月間」として、各学級で、友だちを大切にしたり、相手のことを思いやりたりできる取組を進めようと提案しました。そして「みんなが仲良く、気持ちよく過ごせる長浜小学校を目指そう」という横断幕を掲げ、ア

ピールをしました。それぞれの学級でも、人権を考える話し合いをしたり、それを詩や作文に書き表したりして、一人一人がお互いを思いやり、気持ちよく過ごせるための取組を進めました。子どもたちが、自分たちの問題としてとらえ、提案する姿から、豊かな心が育ちつつあることが見て取れるものです。その時に書いた中から、児童会で優秀な作品として選ばれたのが下記の詩です。

人権強調週間の 子どもたちの詩より

○家族だもん！

河本 華

ある日 弟が入院した
毎日おみまいにいつてあげる
だってだって家族だもん！

先週 姉が風ぜをひいた
毎日姉の分もしてあげる
だってだって家族だもん！

昨日 父が仕事で帰ってこない
でも電話をしてあげる
だってだって家族だもん！

今日 母はごはんを作る
「これからお手伝いしたい」とい
ってみる
だってだって家族だもん！

○言葉をかわすこと

川畑 雄斗

おはよう
おやすみ
家族とかわす言葉だね

ありがとう
ごめんね
仲間とかわす言葉だね

いつもかわす言葉だね
短くて簡単な言葉だけ

世界中のみんながお互いに
言葉をかわすだけで
世界はもっとよくなると思うんだ

豊かな心を育む取組

～ 人権集会 ～



12月10日の世界人権デーに合わせ、全校で人権について考える集会を持ちました。講師に、視覚障がい者の坂井孝之さんをお招きし、お話をお聞きました。

坂井さんは、生まれてすぐに視力を失われました。絶望の中、小学校で学んだリコーダーの演奏から楽器の演奏に興味を持たれ、努力の末、フルート演奏の全国大会で優勝された経験をお持ちです。

今回、自分の半生や白い杖を持つ視覚障がい者の方にどのような手助けが大切かという内容のお話をしてくださいました。時折フルートなど楽器を使って、子どもたちに馴染みの曲を演奏され、視覚障がい者がどのような思いで毎日生活しているか、子ども

たちにわかりやすく話をしてくださいました。子どもたちは、一緒に手拍子をするなどして楽しく演奏を聞きながら、障がいがある方に対する理解や関わり方について考えることができました。

☆子どもたちの感想☆

- 目が見えない人、白いつえを持っている人がいたら、はずかしがらずに声をかけて、助けようと思います。小さな気づきから、いつかきっと、本当にきれいな心の持ち主になれると思います。
- 私は坂井さんの話を聞いて、坂井さんは明るい話の方が多いというか、つらい話をけろっと、しゃべっているなと思いました。星の話は好きだけど、見られなくて残念という話を聞くと、今、ふつうに星を見れることや相手の顔が見えるということは、とってもありがたくて、幸せなことなんだと思いました。

文部科学省より調査官が来校されました

本年度、本校は一人一人の学力の向上をめざし、算数科を中心に指導法の研究を進めています。子どもたちがつまづいている内容を指導の工夫をして解消しようとする研究です。11月21日には、文部科学省より直接、2名の教科調査官がお越しになり、全クラスの授業を参観されました。その中で、「長浜小学校の取組を是非、全国に発信してください。」というお褒めの言葉をいただきました。これは、子どもたち一人一人が考え、互いに学び合うという本校の取組の方向が認められ、成果が得られつつあるということです。今後も、子どもたちが学び合う授業づくりを通してつまづきの解消に努めていきます。



学校後援会より書架を寄贈いただきました

県下で一番早く「滋賀県第一小学校」として開校し、歴史と伝統のある本校ですが、これまでの歴史を記した資料や文献を整理し保存するには収納場所が不十分でした。このため、これまで残されている貴重な文献や資料を保存し、後世に伝えようと、この度、学校後援会より書棚を寄贈いただきました。これにより、散逸している多くの資料を収集し、整えることができます。お礼を申し上げます。

